

## 授業改善書

科目名	家庭支援論
担当者	杉浦 浩美

### 授業の概要

子ども発達学科の学生にとっては、保育士資格取得のための必修科目となっている。それをふまえ、保育の現場で求められる「家庭支援」について、具体的かつ実践的なかわりを考えることができる、そうした力を養うことを目的としている。家族について理論的に学ぶとともに、それを現代の家族問題につなげて考えることができるよう、指導している。

### 授業の問題点

今年度春期は、月曜日の2限・3限、水曜日の2限に授業が設定されていた。このうち、月曜日が子ども発達学科の学生を対象とし、水曜日が子ども発達学科以外の学生を対象としている。月曜日の2限と3限は、保育士必修科目として同じ内容の授業をしているのだが、評価をみると、3限が、授業満足度4.72という高い評価を得ているのに対し、2限は3.85と0.87ポイントの差が出ている。同じ内容の授業に対して、なぜ、このような結果となっているのか。要因については、以下の点が思いあたる。2限には、授業中に問題行動をとる学生が数名おり、毎回その対応に追われたのだ。注意する回数もどうしても多くなり、それが、結果として、ほかの学生の満足度にも影響を与えたと思われる。今後は、こうした一部の学生の行動によって、ほかの学生のやる気がそがれないよう、問題学生への指導の方法、注意の仕方など、いっそう工夫したい。

### 授業改善の課題・方策

講義形式の授業についてこられないような、特に配慮の必要な学生が授業に参加をしている場合は、個人ワークやグループ作業などを増やし、積極的に参加させるようにしたい。

### その他